

平成 30 年度 デイサービスセンターかがみいし

事業報告

1. 事業運営の概況

介護予防・事業対象者の増加や施設入所等の理由により、利用率が低迷していたが、近隣のデイサービス閉鎖に伴い新規利用者様の獲得ができた。徐々に利用率は上がり始めたが、平成30年度の年間延べ利用者数は1,962人、年間稼働率は64.9%となり、前年度比は1.0%下回った。

2. 実施計画

(1) 堅実な事業運営

① 利用率の向上を図る

- ・近隣の居宅介護支援事業者への訪問や、民児協に参加して施設の営業を行った。また、お試し利用を積極的に受け稼働率アップにつなげた。

② 機能訓練の充実

- ・機能訓練指導員のもと、室内だけでなく室外の環境を使った機能訓練を実施し、利用者様個別の指導ができた。

③ サービスの質の向上

- ・利用者様にアンケートをとり、目標カードを作成・設置して向上心を高めた。
- ・職員同士で目標を出しあい、ミーティング時に話し合った。

④ 通所介護計画に沿ったサービスを行う

- ・居宅サービスに基づき、本人及びご家族からの要望を汲みとり、個別通所介護計画を作成し、職員全員に周知しサービスを提供した。

(2) 介護力向上に向けた取り組み

① ケアワーカーの質の向上

- ・本年度は資格取得者がいなかったが、スキルアップにつながるよう努力した。
- ・本部の行う内部研修へと積極的に参加し、知識向上に努めた。

② ヒヤリハットの活用

- ・ヒヤリハットがあまり提出されなかった為、分析まで至らなかった。

③ 苦情の活用

- ・利用者様やご家族の意見を真摯に受け止め、ミーティング時に話し合いサービスの質の向上に繋げた。

(3) コスト削減への取り組み

① 省エネ対策

- ・ファックス等の損紙を利用し、紙の無駄遣いがないように努力した。また節電を心掛け、エアコンやファンヒーターの使用を最小限にした。

(4) 地域との連携強化について

① 地域行事への参加

- ・地域活動に参加するだけでなく、芋煮会を開催し地域の方を招いた行事を行った。

② 地域への積極的な情報発信

- ・広報誌の有効活用や民児協冒頭への出席等により、施設内の様子やサービス内容について情報発信した。また運営推進会議(9月・3月開催)には利用者様やご家族の他、地元の町内会長、民生委員の方々にも出席して頂き、情報を発信するとともに意見を伺った。

③ ボランティアの充実

- ・各種ボランティアを依頼し、利用者様に喜んで頂いた。ボランティアとして来所された方々と友好的関係を築く事ができた。

(5) 農トレでの介護予防

① 利用者様と一緒に植え付け

- ・鑑石園デイサービス・清流クラブ合同でサツマイモの苗付けを行い、楽しい時間を過ごして頂いた。

② 収穫の喜びを味わう

- ・サツマイモの収穫を鑑石園デイサービス・清流クラブ合同で行い、収穫の喜びを味わった。また、収穫した野菜を使った芋煮会や焼き芋大会を開催し、それぞれを美味しく頂いた。

(6) その他

① 非常災害時対策について

- ・総合防災訓練に参加し、職員・利用者様が共に、災害時対応の再確認を行い、防災意識の高揚に努めた。防災訓練は2回行った。

② 安全運転を心がける

- ・常に自分が見られているという意識を持ち、安全運転を心がけた。